

「三重の森林づくりと広聴広報に関するアンケート」の実施結果報告

実施所属:農林水産部みどり共生推進課
戦略企画部広聴広報課

アンケート概要

- (1)実施期間 令和4年8月3日から8月22日
(2)対象者数 1,386名
(3)回答数 924名
(4)回答率 66.7%

年代別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	4人	56人	114人	218人	247人	216人	69人
割合	0.4%	6.1%	12.3%	23.6%	26.7%	23.4%	7.5%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	467人	242人	112人	80人	23人
割合	50.5%	26.2%	12.1%	8.7%	2.5%

※北勢:四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢:津市、松阪市、多気郡

伊勢志摩:伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

伊賀:名張市、伊賀市

東紀州:尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

※割合は少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

アンケート結果

●「三重の森林づくり」についての回答結果(Q1～Q8)

農林水産部みどり共生推進課

Q1 三重の森林づくりについて 1

三重県では、森林の有する多面的機能(土砂流出防止、水源のかん養、自然環境の保全、林産物の供給等)が持続的に発揮されるよう、市町や森林組合等と連携しながら、計画制度や届出制度による適正な森林管理の推進、間伐等による適切な森林整備に取り組んでいます。あなたは、この施策について、どのくらい関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



図1 「森林の多面的機能の発揮」についての関心度

「森林の多面的機能の発揮」について「関心がある」と回答された方は 205 名(22%)、「どちらかといえば関心がある」と答えた方は 417 名(45%)で、合わせると 622 名(67%)でした。

Q2 三重の森林づくりについて 2

三重県では、林業生産活動の持続的な発展による森林資源の循環利用を図るため、生産性の向上や木材の安定供給体制の構築、担い手の育成や確保、県産材の利用促進に取り組んでいます。あなたは、この施策について、どのくらい関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



図2 「林業の持続的発展」についての関心度

「林業の持続的発展」について「関心がある」と回答された方は 178 名(19%)、「どちらかといえば関心がある」と答えた方は 427 名(46%)で、合わせると 605 名(65%)でした。

Q3 三重の森林づくりについて 3

三重県では、森林が継承されるべき郷土の歴史的、文化的な財産であり、自然環境を理解するための教育および学習の場であることから、森林の魅力を生かした観光誘客や情報発信、森林・林業に関する学習機会の提供と指導者の育成に地域と連携して取り組んでいます。あなたは、この施策について、どのくらい関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



図3 「森林文化及び森林教育の振興」についての関心度

「森林文化及び森林教育の振興」について「関心がある」と回答された方は195名(21%)、「どちらかといえば関心がある」と答えた方は431名(47%)で、合わせると626名(68%)でした。

Q4 三重の森林づくりについて 4

三重県では、森林の恩恵は県民の誰もが享受する財産であり、森林を社会全体で支える環境づくりを進める必要があることから、県民やNPO、企業等による森林づくりや木づかい活動の促進、それらの促進につなげるための意識醸成等に取り組んでいます。あなたは、この施策について、どのくらい関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



図4 「森林づくりへの県民参画の推進」についての関心度

「森林づくりへの県民参画の推進」について「関心がある」と回答された方は181名(19%)、「どちらかといえば関心がある」と答えた方は441名(48%)で、合わせると622名(67%)でした。

Q5 三重の森林づくりについて 5

あなたは、三重の森林づくりに関する情報を得るために次の HP 等をご覧になったことはありますか。ご覧になったことがあるものをすべて選んでください。

※選択肢の詳細については、下記のアドレスからご確認ください。

○三重県のホームページ

http://www.pref.mie.lg.jp/s_kanko/sangyo/ci300000429.htm

○Facebook「みんなで支える森林づくり・三重」

<https://www.facebook.com/mieshinrin>

○Facebook「みえの自然」

<https://www.facebook.com/mienoshizen>

○Facebook「みえ森林・林業アカデミー」

<https://www.facebook.com/miemorimanabi/>

○Instagram「national park iseshima 」

https://www.instagram.com/nationalpark_iseshima/

○YouTube「三重県森林・林業チャンネル」

<https://www.youtube.com/user/prefmieforest>

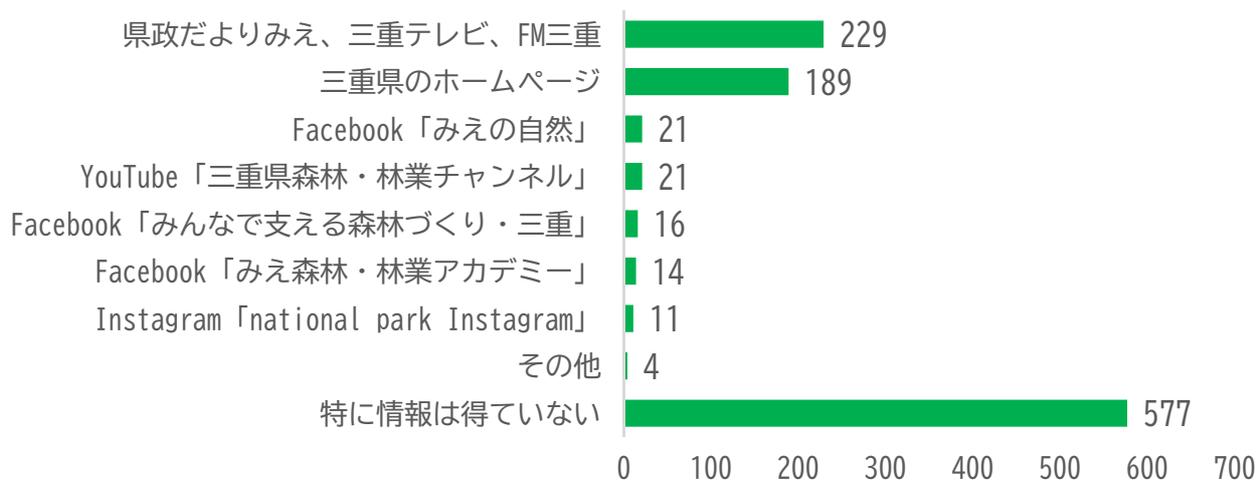


図5 三重の森林づくりに関する情報の入手先（複数回答）

三重の森林づくりに関する情報の入手先について、「県政だよりみえ、三重テレビ、FM三重」などの広報媒体からが 229 名、「三重県のホームページ」からが 189 名となり、主にこれら 2つから情報を得ているという結果になりました。一方で、半数以上(577/924 名)の方が「特に情報は得ていない」と回答されました。

また、「その他」を選んだ方の回答では、「知人が森林づくりに関する活動を行っている」、「個人的に」などがあり、日常生活の中で森林に関する情報を得ていることが分かりました。

Q6 三重の森林づくりについて 6

林業などを通じて森林を適正に管理し、健全な森林を将来に残すためには、多くの方が森林と私たちの暮らしの関わりを理解し、森林保全に関わったり、木材を利用したりすることが大切です。あなたは、森林・林業についての理解を深めるために、どのような方法が有効だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

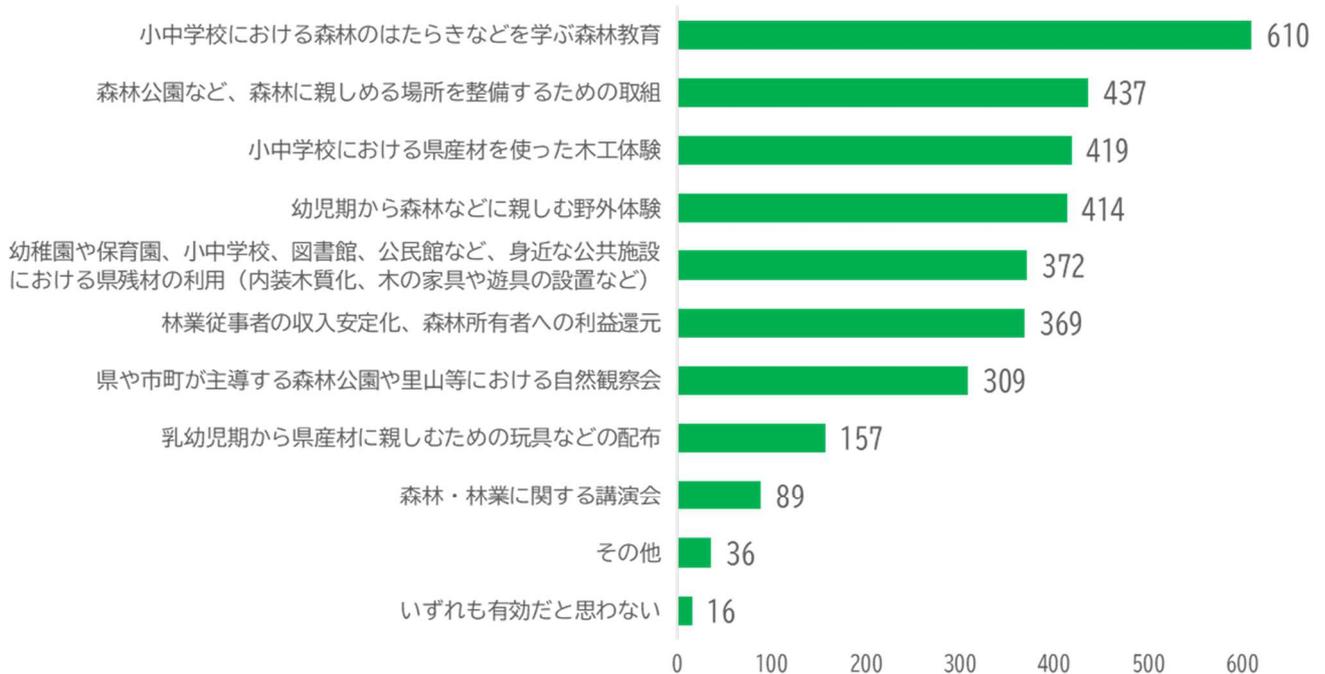


図6 三重の森林づくりに関する情報の入手先（複数回答）

森林・林業への理解を深めるために有効な方法として、「小中学校における森林のはたらきなどを学ぶ森林環境教育」を選択した方が最も多く約 66% (610/924 名)、そのほか、「小中学校における県産材を使った木工体験」、「幼児期から森林などに親しむ野外体験」を選択した方も約半数近くいることから、子どもを対象とした森林教育が有効という意見が多くみられました。

Q7 「みえ森と緑の県民税」について 7

三重県では平成26年から「みえ森と緑の県民税」を導入し、個人は年額1,000円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の10%相当額(年額2,000円～80,000円)を納めていただいています。

この「みえ森と緑の県民税」を活用して、県が災害緩衝林整備事業等の災害に強い森林づくりに取り組むとともに、市町が人家裏や通学路沿いの暮らしに身近な危険木の伐採、教育現場への木製備品の導入等地域に密着した取組を行っています。

あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

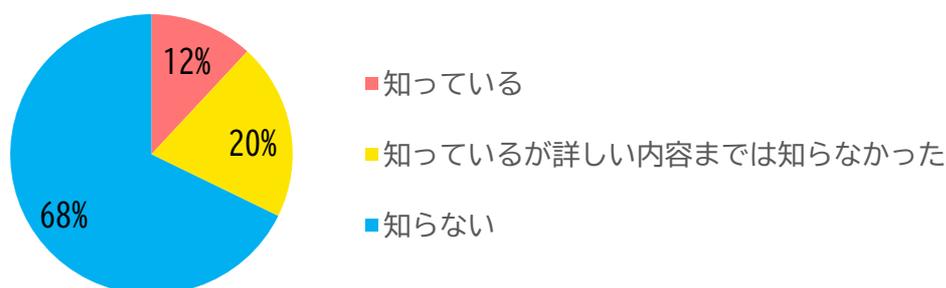


図7-1 「みえ森と緑の県民税」の認知度

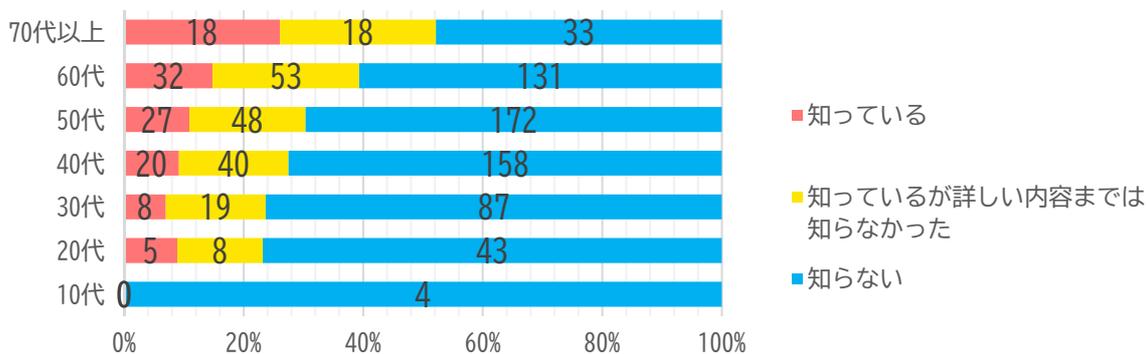


図7-2 「みえ森と緑の県民税」に認知度(年代別)

「みえ森と緑の県民税」について、「知っている」と回答した方は110名(12%)、「知っているが詳しい内容までは知らなかった」と回答した方は186名(20%)で、合わせると296名(32%)でした。

年代別で比較すると、30代以下の世代では比較的認知度が低いという結果になりました。

Q8 「みえ森と緑の県民税」について 8

「みえ森と緑の県民税」に対してあなたが抱くイメージについて、あてはまるものをすべて選んでください。「みえ森と緑の県民税」を知らない方は、その言葉から受けるイメージについて選んでください。

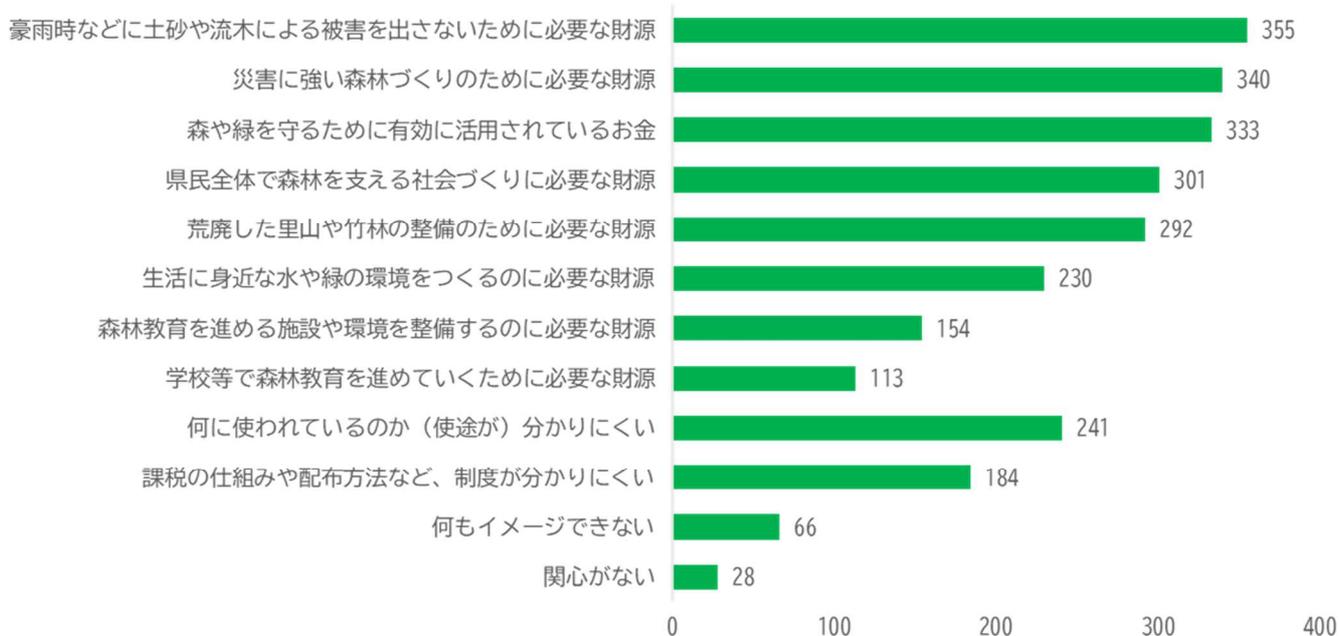


図8 みえ森と緑の県民税のイメージ（複数回答）

「みえ森と緑の県民税」に対して抱くイメージとして、「豪雨時などに土砂や流木による被害を出さないために必要な財源」、「災害に強い森林づくりのために必要な財源」、「森や緑を守るために有効に活用されているお金」、「県民全体で森林を支える社会づくりに必要な財源」、「荒廃した里山や竹林の整備のために必要な財源」を選択した方が多い結果となりました。一方で、「何に使われているか分かりにくい」と回答した方が全体の約 26%を占める結果となりました。

●「広聴広報」についての回答結果(Q9～Q16)

戦略企画部広聴広報課

Q9(県が提供している情報の入手手段について)

あなたは、三重県がお知らせする情報(※)をどこから得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※三重県がお知らせする情報とは、県の計画・政策・財政、災害・感染症、催し物案内、有施設の案内、募集案内、暮らしの相談窓口案内、官公署の事務手続き方法、研修案内、各種統計などに関する情報のことです。

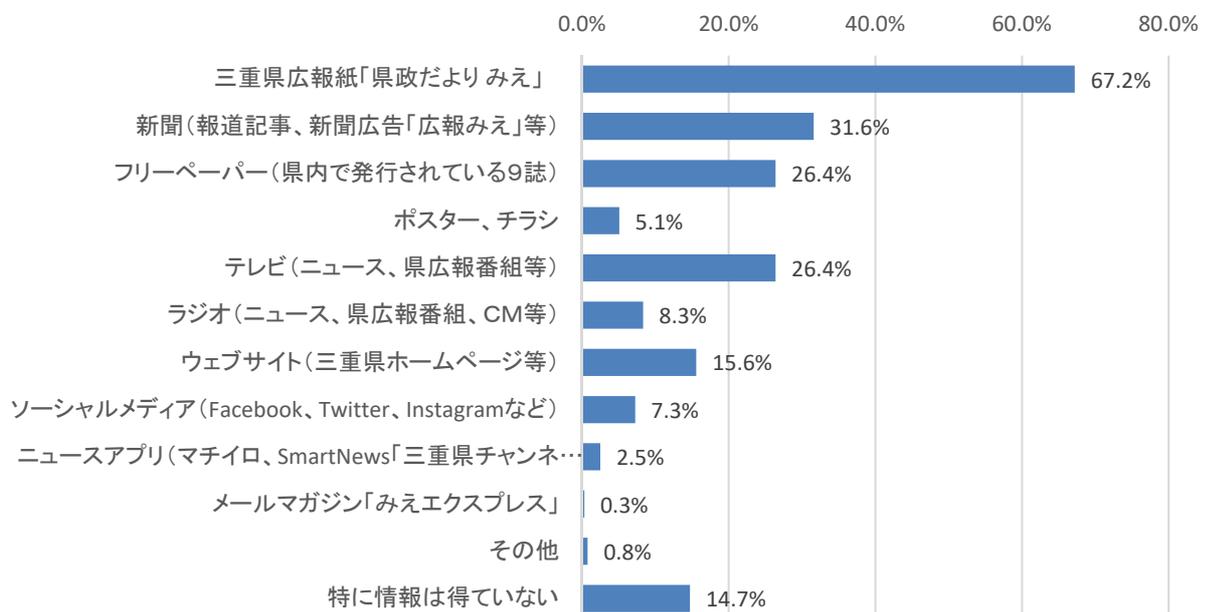


図9 県が提供している情報の入手手段について

県の事業や催し物などの情報源については、「三重県広報紙『県政だより みえ』」が67.2%(621人)と最も多く、次いで、「新聞(報道記事、新聞広告)等」が31.6%(292人)、「フリーペーパー」が26.4%(244人)などとなっています。

県民の皆さんの情報入手手段が多様化していることから、より効果的に広報活動を実施するため、広報紙、新聞やテレビ・ラジオ、三重県ホームページなど、それぞれの媒体の優れた点を生かし、今後も県の情報をより分かりやすく、適切に発信していきます。

Q10(県政だより みえの入手手段について)

あなたはどのようなかたちで「県政だより みえ」をご覧になられますか。あてはまるものをすべて選んでください。

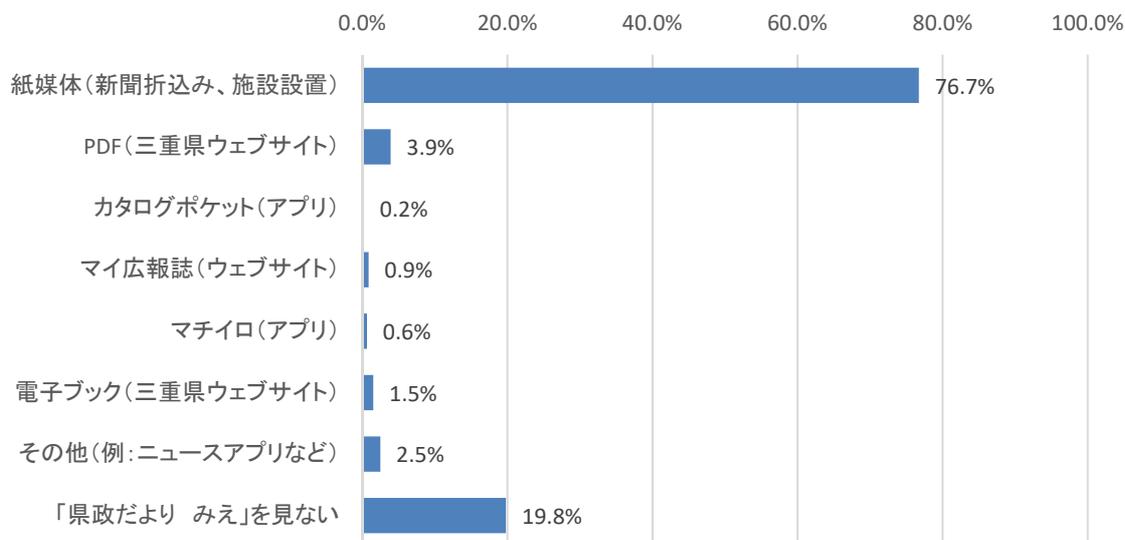


図10 県政だよりみえの入手手段について

県政だより みえの入手手段については、「紙媒体」が 76.7%(709 人)と最も多く、次いで、「『県政だより みえ』を見ない」が 19.8%(183 人)、「PDF」が 3.9%(36 人)などとなっています。

今後は、紙媒体に加え電子メディアでも「県政だより みえ」をご覧いただけるよう努めて参ります。

Q11(県の広報活動の実感度について)

あなたは、県の広報活動は、十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

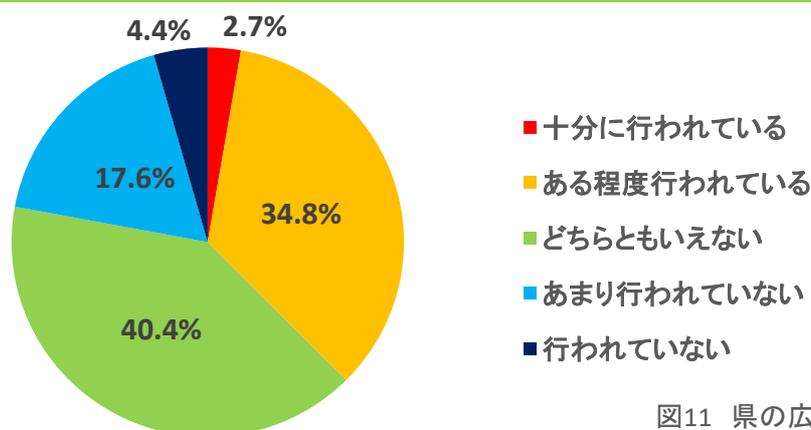


図11 県の広報活動の実感度

県の広報活動の実感度については、「どちらともいえない」が 40.4%(373 人)と最も多く、次いで、「ある程度行われている」が 34.8%(322 人)、「あまり行われていない」が 17.6%(163 人)などとなっています。

県民の皆さんに県の広報活動を実感していただけるよう、適切に情報発信していきます。

Q12(電子メディアにおける情報入手手段の状況について)

県の情報に限らず、あなたが、インターネット上で利用している情報入手手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

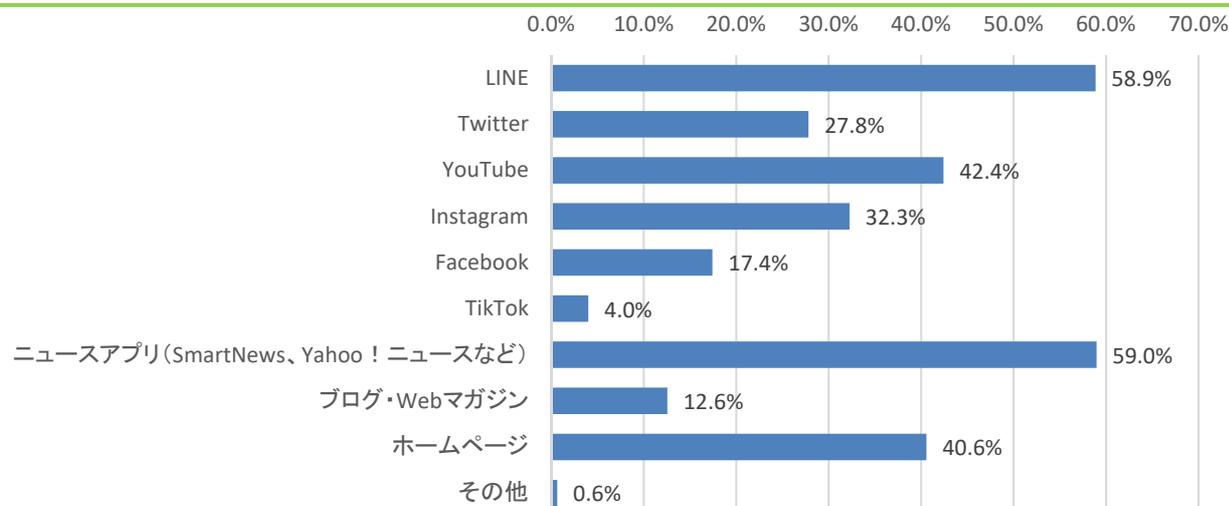


図12 電子メディアにおける情報入手状況について

電子メディアにおける情報入手手段の状況については、「ニュースアプリ」が 59.0%(545 人)と最も多く、次いで、「LINE」が 58.9%(544 人)、「YouTube」が 42.4%(392 人)などとなっています。

県民の皆さんの情報入手手段のニーズが多様化していることから、今後もより効果的に広報活動を実施するため、各電子メディアの優れた点を生かして情報発信を行います。

Q13(県への意見などの提出方法について)

県政への意見、要望、提案などを、どのような方法で提出したいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

※県では、県民の皆さんから県政に対する意見や要望、提案などをお聴きし、内容を県民皆さんと情報共有する「一般相談・さわやか提案箱」や、各種の行政課題について電子アンケートを行う「e-モニター」、県職員が集会・学習会などにお伺いし、県民の皆さんとトーク(対話)する「みえ出前トーク」を実施しています。

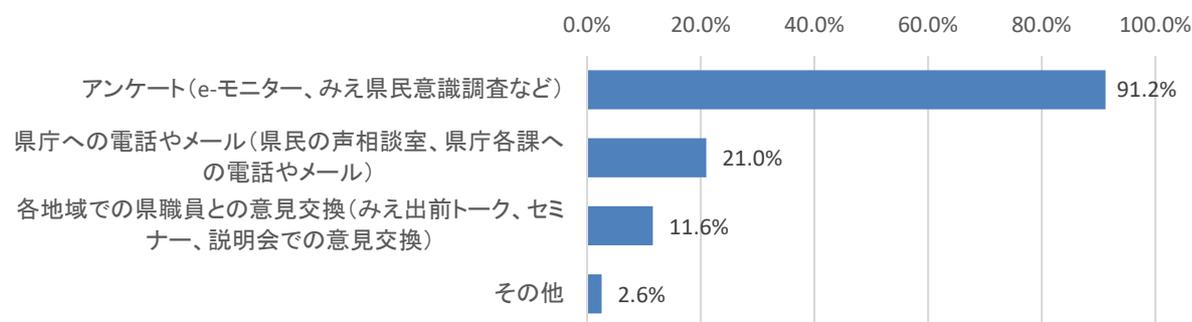


図13 県への意見提出方法について

県への意見などの提出方法については、「アンケート」が 91.2%(843 人)と最も多く、次いで、「県庁への電話やメール」が 21.0%(194 人)、「各地域での県職員との意見交換」が 11.6%(24 人)などとなっています。

今後も各広聴ツールの優れた点を生かして、効果的な広聴活動を行います。

Q14(「みえ出前トーク」の活用状況について)

県では、広聴活動の一つとして、県職員が集会・学習会などにお伺いし、県民の皆さんとトーク(対話)する「みえ出前トーク」を実施しています。

あなたは、「みえ出前トーク」をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

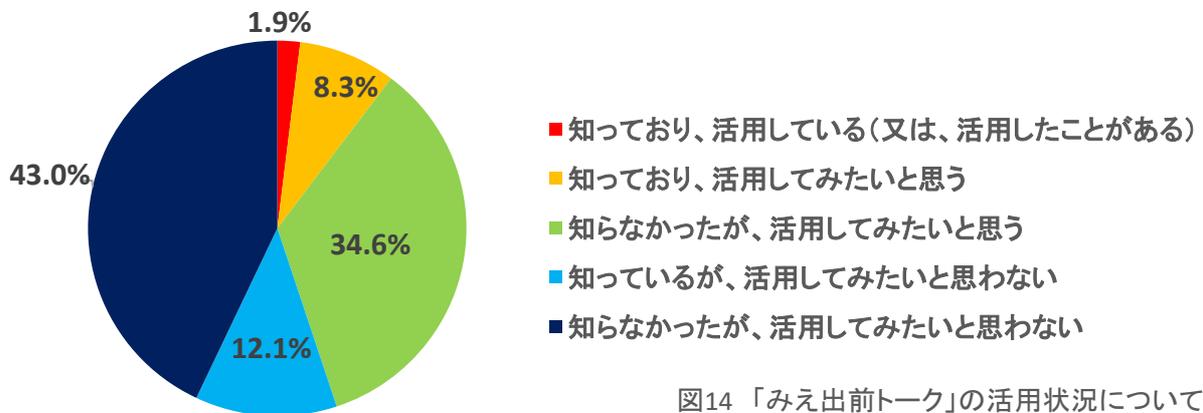


図14 「みえ出前トーク」の活用状況について

「みえ出前トーク」の活用状況については、「知らなかったが、活用してみたいと思わない」が43.0%(397人)と最も多く、次いで、「知らなかったが、活用してみたいと思う」が34.6%(320人)、「知っているが、活用してみたいと思わない」が12.1%(112人)などとなっています。

今後も「みえ出前トーク」を活用頂くため、積極的な広聴活動を行います。

Q15(県の広聴活動の実感度について)

あなたは、県の広聴活動は、十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

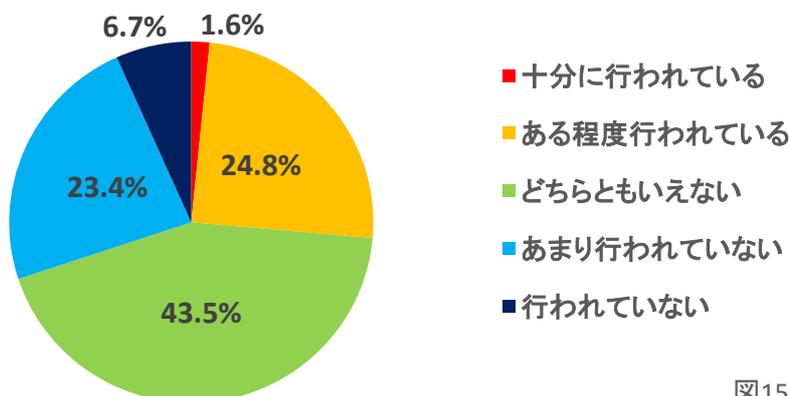


図15 県の広聴活動の実感度

県の広聴活動について「十分行われている」「ある程度行われている」を選択した方は、合わせて26.4%(244人)となっている一方で、30.1%(278人)の方は「あまり行われていない」「行われていない」と感じています。

今後も、さまざまな広聴ツールを活用して、より積極的な広聴活動に取り組んでいきたいと考えています。

Q16(関心のある県の情報について)

あなたは、どのような県の情報に関心がある(を得たい)と思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

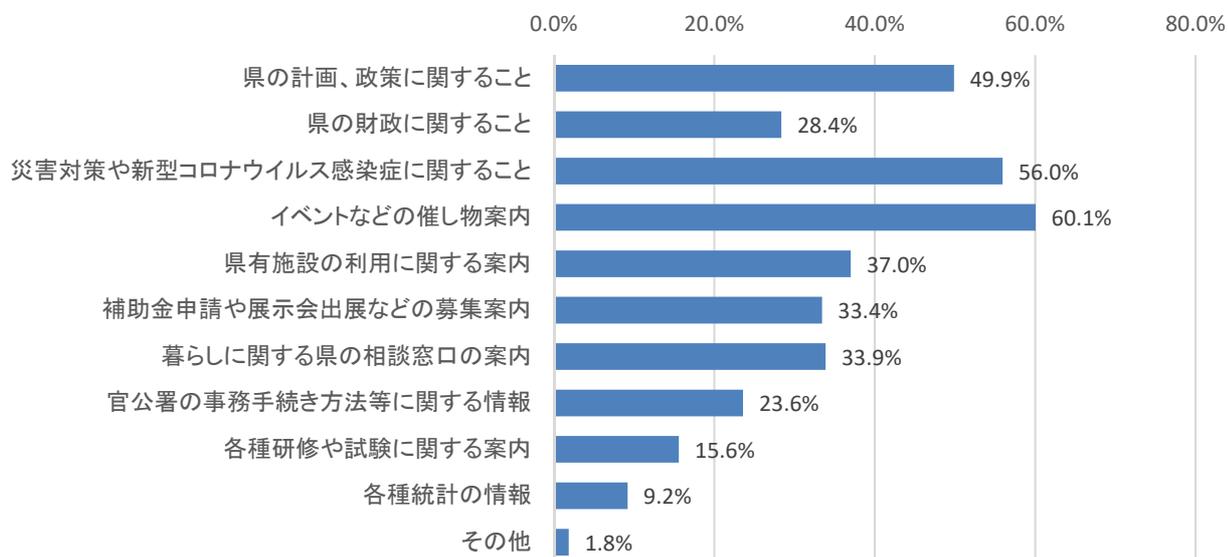


図16 得たいと思う県の情報について

関心のある県の情報については、「イベントなどの催し物案内」が 60.1%(555 人)と最も多く、次いで、「災害対策や新型コロナウイルス感染症に関すること」が 56.0%(517 人)、「県の計画、政策に関すること」が 49.9%(461 人)などとなっています。

今後も県民の皆さんのニーズをふまえ、さまざまな広報媒体を組み合わせた情報発信を行います。